

氏名	成 末 允 勇
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	甲 第 200 号
学位授与の日付	昭和41年 3 月31日
学位授与の要件	医学研究科外科系外科学専攻 (学位規則第 5 条第 1 項該当)
学位論文題目	<b>Walker carcinosarcoma 移植ラットの脂質に関する研究</b> 第 1 編 肝および腫瘍中カロチン, ビタミンA, ユビキノンの含有量について 第 2 編 肝, 脾および腫瘍のミクロゾーム画分における脂質の検討
論文審査委員	教授 田中早苗 教授 妹尾左知丸 教授 山本道夫

#### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

担癌ラツテ肝, 腫瘍中カロチン, ビタミンA, ユビキノンは対照肝に比し減少しており特にユビキノンの減少が著しかった。またシクロヘキサン: 醋酸エチル (5:1) を展開溶媒とした薄層クロマトグラフィでは担癌ラツテ肝中脂質は Rf 0.51 の物質以外はすべて減少していた。この物質はユビキノン様吸収スペクトルを描き, Craven 反応陽性であった (第 1 編)。腫瘍が体重の約 1% のもののミクロゾーム, 上清画分中単位蛋白量あたりの脂質は肝ではわずかに減少, 脾では増加を認めた。各物質のしめる割合では著明な差がなかった。レシチン: ケフアリン比は腫瘍が肝, 脾に比し低値であった。上清画分では腫瘍が肝, 脾に比し比較的多かった。n-プロパノール: 水 (5:1) を展開溶媒とした場合, Rf 0.69 に腫瘍のミトコンドリアミクロゾーム画分 I に多量に存在し正常および担癌ラツテ肝, 脾ではほとんどみいだせない物質が存在することを認めた (第 2 編)。

岡山医学会雑誌 第78巻 2号昭和41年 2月掲載

## 論文審査の結果の要旨

成末允勇提出の「Walker carcinosarcoma 移植ラットの脂質に関する研究」に関する学位論文につき審査した結果の要旨は、次の通りである。

即ち、担癌ラットの肝、腫瘍中カロチン、VA、ユビキノ含有量は対照肝に比し減少しており、特にユビキノの減少が著しかった。薄層クロマトグラフィでは担癌ラット肝中脂質は Rf 0.51の物質以外はすべて減少していた。この物質はユビキノに似た性質を示した。又、腫瘍マイクロゾーム、上清画分では脂質は肝では僅かに減少脾では増加していた。レシチン：ケファリン比は腫瘍が低値を示した。また、n-プロパノールで展開したとき Rf 0.69に特有物質の存在をみた。

以上の通り本論文は新しい知見に富み、学術上有益であり、著者は医学博士の学位を授与せられるべき学力を有すると認める。